



丹後蟹かにツア

ピースクラブ通信

No.13

発行 社会福祉法人 ピースクラブ
住所 〒556-0014 大阪市浪速区大国1丁目1-1
連絡先 TEL&FAX 06-66647-2077
Eメール peaceclub@s2.dion.ne.jp

▲うお～！

2月9日、車隊と電車隊に分かれピースを出発。この日大阪はめずらしく大雪で先が思いやられる。車には晋作、佐伯、のぶ、郁也、成仲、河柴、西村とぎゅうぎゅうになりながら、むさくするしく乗車。阪神高速から中国自動車道で福知山まで高速道路で行き、料金所で障害者割引ができないとあり交渉し、未納で通過(後日、現金書留できっちり半額支払う)。

京都方面に入ってからあんなに降っていた雪が少なくなっていてひと安心。昼食に車隊は中華料理屋へ。このお店にはバイキングがあり夜のカニのことを忘れ数人が食べ過ぎるといふミスをおかしてまうことに。そして約四時間かかり丹後・網野方面へ到着する。電車隊の岸本、カメタ、道本、下森、まさみち、正樹、ようすけはもうすでについており昼食を食べないという徹底ぶり、車隊とはちがい気合が感じられる。

それから民宿に着くと、近くの港にある市場で今あがったばかりの魚介のセリが行われていて、しばし見学。今から食べる丹後の松葉蟹に腕に日印のベルトがまかれてあり最高級ブランドのあかしだそう。く、食つて

西村 猛

ピーコラ

同じ釜の飯を食うという言葉がある。週日はほぼ同じメンバーで朝、昼、晩3度の食事をしている▼現場のスタッフのよ

(普)

▼うお～～！！



やる・・・とはやる気持ちを抑え、元氣な者だけ近くの温泉よしの里へ。そこで昼間のバイキングがきいていたので、がんばってお腹を減らすことに集中する。

お風呂をあげり民宿に戻る途中にビール、焼酎、他飲み物を購入し帰り、七時ごろ民宿に到着。もうそのころには食事準備ができていて、いざ母屋にある食事場へ。そこには、もうカニ、

魚の刺身の船盛り、なべ、焼きのカニ、かみそなどが用意されていて、皆そろ々と誰かの合図と共にいっせいに食べはじめた。

・・・皆、無言で食す。食べることにだけに気をそそぐ時間が当分続き、そしてビールをのむ。焼きがに、刺身、蟹みそを網で焼き食べる。うまい！

皆げっこう食べ、余裕もでて、どこからともなく「ま

いうー」の音が。だが皆の手は休むことなく蟹をむき続け、食べ続ける。そして自然と談笑に。あることで皆につつまれすぎたM君が涙を見せることがあり、それがなぜかおかしく皆で大笑いに。こめんやでM君それをきつかけに酔っ払っているのか、前にいる晋作さんを筆頭に佐伯さん、郁也、のおなど、皆幸せそうにニへニへ笑いながらまだ

食べる。まさみちも一人漫談をしながらニタニタ、何か独特のおもしろい世界になっていて自分もニへニへ笑っていることに気づく。この面子で温泉に入って蟹とビールがあったらこうなるわなと、何か変に納得す

るのだった。ただ一人、下森進ちゃんも最初は最後まで何かにとりつかれた様に蟹にむしゃほりつきっぱなしで、誰かに「あれはプロやで」と言われていた。それから買ってきたお酒がなくなるくらいまでのみ、良い心地で寢床に行き自分は1階で就寝。

翌朝、2階で寝ていた河栄さんによると、Mがの過ぎでもどし、夜中に歌いだすわ、IとNが夜中にいたずらするわ、Sのいびきが強烈だと、なかなかハードコアな夜だったらしい。お疲れ様でした河栄先輩。

みやこじま 宮古島あれこれ

3月6、7日と高校受験の様子をTVで見ている、あの様子だった、お昼になると「そうだった、お昼になると両親、オジーやオパーまで試験会場に来て校庭でシー

トをひいて受験生を囲んで皆でお弁当を食べる。運動会のような風景なのに、午後からは試験が待っている。宮古では、小学校入学、

高校受験合格発表、高校卒業、成人祝い、と地域の人を呼んでお祝いをする、小さい時は気が付かなかつたが本当に祝い事が多いと思う、それだけ子供が大事にされてるといふ事なんだろうか、岳が高校受験の時は、おばーと吉郎とピースの皆で応援に行くなあ！

宮古島の火葬場はとても古い。何年か前より新しい火葬場を造ろうと言う話がありいよいよ場所が決まったと言うニュースがあった。何日かして島のユタが予定している場所は神様のとうり道と言う事で地域の人達が反対しているとの事、そして又何日かして予定地を200mずらすと言う事でユタに聞くとOKが出てめでたく新しい火葬場を造る事になりました。島の人は病人が出たり、悪い事が何回も起こるとユタの話を聞きに行く、井戸を埋めては駄目、この土地は戦

ちえ 千恵 たてもと 藝本

ずいぶん前、「どんな時に幸せ〜って感じる？」と聞かれた。ピースクラブに行って「ただいま〜」って帰ってきて一緒にお茶のんで一息ついた時。ほんで一緒にご飯食べて〜お茶して〜。と言ったらプッと笑って「おばんくさ！」と温かい顔で言われたことがある。

たまに「やっほ〜遊びに来ちゃった〜」と友達が来て賑やかなご飯やお茶タイムになったりする。

お父さんも気楽に話ながらご飯やお茶を一緒に出来る人は少ない。

節目節目で何かと縁があったその友達はもう来ることはないが「いいところに行けてよかったね。」と今年になってから特によく言っていた。私はいつも「うん！(*^_^*)」

ピースクラブのみんなは敏感。

元気のつもりでいても、どこか凹んでるのが虚ろんでいるのか。そばに来てくれたり、ギュ〜と抱きついてきたりしてパワーをくれたりすることが多い。いつもいつも助けてもらってる。

私もそうならいいな。

争で沢山人が死んだから駄目、ユタの言う事は本当に説得力がある。

沖繩のオバーの名前聞いたことがありませんか？ カメ、カマ、メガ、ウシ、モウシ、

病院で働いてる時ウシというおばーに「オバーは小さい時からウシだったの？」と聞いてすごい怒られた事があった。ちなみに私のオバーは「ヨノシメガ」と言う。

1カ月前、さとうきびの作業を終えて、夜まで普通だったおじさんが明け方、脳梗塞で見つかった、昨日まで元気だった人がこうなるのか、皆ショックを受けて

いる。人生何が起こるか解からない、今日出来る事は後回しにせず今日しておかなくてはいけないと痛感している。

(あさこ)

ついでにもどりの車でも

中村 晋作

私がまだ山口県にいた

2005年の暮れから始めた「高速道路の障害者割引制度の改正を求める運動」も、その詳しい経緯はホームページ、<http://www.geocities.jp/qwmvc154/index.html>で読んでほしいのだが、高速道路株式会社3社といくらか交渉しようと思っても無駄のようなので、今年2008年から、それへの抗議を實際の行動で実践する事にした。

さて、今年の正月は岸本君と車で山口まで旅をした。それに先立ち、車両につける、いつ、どこでも、どの車でも半額で通る運動のマーク、料金所でのアピール文、後続車への注意を促す張り紙を用意して出発した。

この旅で都合3回、高速道路を利用したが、料金所の対応はまちまちだった。頑強に半額通行を拒否し、未



▲若葉マークを変造した「いつ、どこでも、どの車でもマーク」これ、いったいなんやろって、みんな首をかしげてた。(手抜きせんとなんかかんがえよっ！)

した窓口がないと拒否されたので、翌日、現金書留で送った。後口、送った半額は未納で通った料金所に送って処理したと通知があり、実際に

納の手続きをとったところ(この前、蟹かにツアーで佐伯君が同じ日にあった)。領収書は出せないけれど、半額通行をさせてくれたところ。アピール文を見て、半額の領収書をくれたところ。一見して地方はチェックが厳しく、都会はゆるい。交通量の差か、これも地域間格差の問題である。未納扱いになった分は西日本高速道路株式会社本社に意見書を添えて持参したが、対応した管理事業本部管理事業部に、半額では受け取れないし、ここにはそう

上の当事者の岸本君にも、料金所から領収書が届いたらしい。やれやれ、なんと回りくどいことか。これからも督促を続けていくと言うが、まだ何も言っていない。現在、ETC化を進めるために、数々の割引が実施されているというのに、障害者割引だけは旧態依然とした「お情け」の割引制度である。面倒この上もないが、しばらくはこの運動を続けていくつもりである。

なお、私のように、登録さえ出来ないという理由のほかに、半額通行を認められない場合があり、それぞれの思いをぶつけてもらえばいいけれど、いくつかのパターンをHPに載せておくので、参考になればと思う。ピースは他にも、温泉施設の車椅子での入湯のことなど、忙しい。どの問題もそうだが、多くの人が声を上げれば制度は変わる。

これからのスケジュール

4月、日時未定
花見、イチゴ狩り

5月18日(日)～23日(水)
中村晋作 人・日・月 宮古島展
(カフェ373)

5月26日(月)～6月1日(日)
潮平紀子さん追悼展(那覇)

*2つの催しに合わせて幾班かのツアーが組まれます。参加ご希望の方はお早めにお申し込みください。